

2回生 必修教科「美術」授業のシラバス

教科名	美術	科目名		単位数	35	時間	
科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を養う。 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。						
教科書	美術2・3（光村図書）	副教材	美術資料（秀学社）				

1 学習の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 基本的には必要ありません。
- (2) 授業について
 - 絵・彫刻・工芸・デザインなどの表現活動では、必要な道具や用具の準備について、事前に連絡します。
 - 彫刻刀の基本的な扱いに慣れておきましょう。また彫刻刀の手入れはしっかりと行いましょう。
- (3) 復習について
 - 定期考査前には教科書・ワークシート・資料集をよく復習しましょう。

〈学習アドバイス〉

- 定期考査を行います。授業や実習等から学んだことについて、教科書・ワークシート・資料集から出題します。
- 完成した作品等を題材ごとに設定した評価基準に基づき評価します。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点を理解し、表現方法を工夫して表すことができる。
②思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の工夫、機能美と働きなどについて独創的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方・感じ方を広げている。
③主体的に学習に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議				
①知識・技能		◎			○		◎			○					
②思考・判断・表現		◎			○		◎			○					
③主体的に学習に取り組む態度		◎			○		◎			◎	○				

〈担当者からのメッセージ〉

- 授業中の創造的な活動の全てが評価の対象になります。主体的に活動に取り組み、創意工夫しながら制作する姿勢を大切にしてください。
- 自然や美術作品、文化遺産などに関心を持ち、親しみを持って鑑賞する姿勢を持つようにしてください。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション(1)	美術の目標と授業内容について学習する。	③学習内容をしっかりと理解しようとしている。		AB
5	レオナルドとその時代 空想の世界へようこそ 一点透視図法を活用した絵画の制作(9)	○教科書や資料集の参考作品を基に、透視図法や遠近法を学ぶと共に、一点透視法を使用し部屋のデザイン画を描く。 ○作図した部屋の絵に家具など適切な配色を考え、色鉛筆等で着色する。 ○完成した作品を掲示し、互いに鑑賞しながら透視図法による表現方法の良さについて考える。	②③奥行きや空間の表現を積極的に理解しようとしている。 ②生活感のある部屋の構成を考えている。 ①消失点を正確に利用し正確に作図しようとしている。 ②③完成した作品を互いに鑑賞し合い、一点透視法のもつ効果を理解することができる。		ABI AFHI
6					
7	メッセージを伝える ポスターの制作(10)	○教科書や資料集の参考作品を基に、現代社会で用いられている多様な伝達媒体に見られるデザインの働きについて学ぶ。 ○伝えたい内容のイメージにあったデザインを、伝える相手や手段、形や色彩などから総合的に考え制作する。 ○完成した作品を掲示し、互いに鑑賞しながら、作者のメッセージが伝わったかを話し合い、伝達のデザインについて理解を深める。	②③メッセージをうまく伝えているポスターに注目し、よさや美しさを味わおうとしている。 ②製作の意図が多くの人に伝わるような、構成や配色を考えアイディアスケッチにあらわしている。 ①ポスター制作のプロセスを理解し、表現に必要な技術等が作品に生かされている。 ②③他者の作品の意図を、全体の構図や配色などから読み取っている。	1学期期末考查 (P50-53, P95 他)	ABCI AFHI
8					
9					
10	躍動感を捉える(6) 彫塑：動きのある人物の制作	○人体のバランスについて理解し、骨格や筋肉の質感などを考えながらクロッキーにあらわす。 ○針金や粘土などの材料の使い方を学び、人体の動きを効果的にあらわした立体像を制作する。	①人体の基本的な構造やプロポーションについて理解し、作品にあらわそうとしている。 ②人体の骨格や関節の特徴に注意しながらクロッキーを描き、立体作品を構想している。 ②針金や麻ひも、粘土の特性を考え、また人体のプロポーションや筋肉の付き方を考慮しながら制作している。 ②③個々の作品にあらわされた人体の動きに注目して、互いに鑑賞し合うことができる。		ABI AFHI
11					
12					
1	北斎からゴッホへ(1) 一版多色摺り版画の制作(8)	○「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」を鑑賞し、浮世絵制作の過程と分業の仕組みについて理解する。 ○一版多色版画の制作過程について学習する。 ○材料を見ながら構想を考え、アイデア・スケッチにあらわす。 ○彫りによる線の効果と掏りによる色彩の効果などを意識しながら木版画にあらわす。	②③ジャポニズムを例に、国境を越えた文化の交流に目を向け、浮世絵のよさや美しさを味わおうとしている。 ②伝統文化の造形的なよさや美しさを生かした構想を考え、アイデアスケッチにあらわしている。 ①彫りや掏りの手順を考え、見通しをもって制作し、効果的で美しい表現をしている。 ②③互いの作品を鑑賞することで、版画のよさや美しさを感じ取りることができる。	2学期期末考查 (P22-23 P30-31 他)	ABIL AFHI
2					
3					